

科目名	相談援助の基盤と専門職 I						
Course Name	Social Work Basics and Specialization I						
年次	1 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	佐藤 佳子						
連絡先(質問等)	研究室:栄養棟 3 階か、メールで対応。オフィスアワーは授業担当時間外、会議時間外						
必修/選択	選択(社会福祉士受験資格必修)						
関連 DP	DP2 DP3 DP4						
授業の概要と到達目標	<p>この科目は社会福祉士の役割を学ぶためのものである。ソーシャルワーク実践を行う上で、不可欠なソーシャルワークの理念や価値、その形成と根拠となる理論について学ぶ。</p> <p>①社会福祉士の役割と意義について明確にできるようにする。</p> <p>②ソーシャルワークが必要な現代社会の状況について特徴を述べるができるようにする。</p> <p>③ソーシャルワークの概念と構成要素について確認し、説明できるようにする。</p> <p>④ソーシャルワークの価値・知識・技術の重要性を説明できるようにする。</p> <p>⑤ソーシャルワークにおける権利擁護の意義と範囲について説明できるようにする。</p>						
授業の方法	基本はテキストと視聴覚教材、関連資料を使用した講義方式とする。ただし、理解を深めるため、グループワーク、ディスカッションを取り入れる。毎回書き込み式の資料を配付するので、フアイリングなど工夫し、復習に利用すること。毎回リアクションペーパーを記入させ、授業の振り返りと知識定着を図る。						
学習成果	L01						
	L02	専門職としての基本的な知識・態度を身に着けることができる。社会における社会福祉士の役割をモデル化することができる。					
	L03	人権尊重と社会正義などソーシャルワーク実践を支える基盤を認めることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	授業終了後のリアクションペーパーにて理解度等を測定、記載された質問事項には、翌週回答する。						
教科書/参考図書	<p>「社会福祉概論」立花直樹・波田埜英治/ミネルヴァ書房</p> <p>「相談援助の基盤と専門職」新・社会福祉士養成講座6/中央法規</p>						
履修上の留意点やルール等	私語、携帯電話の使用を禁止。授業に関係のないもの(携帯電話、飲食物、化粧品、手帳)はかばんにしまうこと。配布資料・板書のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合は、退出を求めることがある。テキスト等、必ず持参すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	履修上の留意点を遵守し、遅刻なく準備を整え授業に臨み、必要なことはノートを取り、学んでいること。周りに迷惑をかける態度は、減点対象とする。		30		
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験	選択式、穴埋め、記述、事例問題、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。			70	
その他					
合計			30	70	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスの説明、受講の留意点等)
	事前・事後学習	シラバスを読んでおく
2	授業内容	社会福祉士の役割と意義① 社会福祉士・介護福祉士法における定義と位置づけ
	事前・事後学習	テキストの該当ページを読んでおく
3	授業内容	社会福祉士の役割と意義② 社会福祉士の専門性
	事前・事後学習	テキストの該当ページを読んでおく
4	授業内容	現代社会と地域生活① 現代社会の特徴と地域生活
	事前・事後学習	テキストの該当ページを読んでおく
5	授業内容	現代社会と地域生活② 人々の生活と自分らしい人々の生活
	事前・事後学習	テキストの該当ページを読んでおく
6	授業内容	ソーシャルワークの概念 国際ソーシャルワーカー連盟の定義
	事前・事後学習	テキストの該当ページを読んでおく
7	授業内容	ソーシャルワークの構成要素① ソーシャルワークの本質から考える
	事前・事後学習	テキストの該当ページを読んでおく
8	授業内容	ソーシャルワークの構成要素② ソーシャルワークの展開を考える
	事前・事後学習	テキストの該当ページを読んでおく
9	授業内容	相談援助の理念 I ① ソーシャルワーカーと価値
	事前・事後学習	テキストの該当ページを読んでおく
10	授業内容	相談援助の理念 I ② ソーシャルワークの実践と価値
	事前・事後学習	テキストの該当ページを読んでおく
11	授業内容	相談援助の理念 I ③ ソーシャルワーク実践と権利擁護
	事前・事後学習	テキストの該当ページを読んでおく
12	授業内容	相談援助の理念 II ① クライアントの尊厳と自己決定
	事前・事後学習	テキストの該当ページを読んでおく
13	授業内容	相談援助の理念 II ② 自立支援とエンパワメント
	事前・事後学習	テキストの該当ページを読んでおく
14	授業内容	相談援助の理念 II ③ ノーマライゼーションと社会的包摂
	事前・事後学習	テキストの該当ページを読んでおく
15	授業内容	前期のまとめ
	事前・事後学習	事前:配布資料を過不足のないよう整理して持参する 事後:試験勉強